

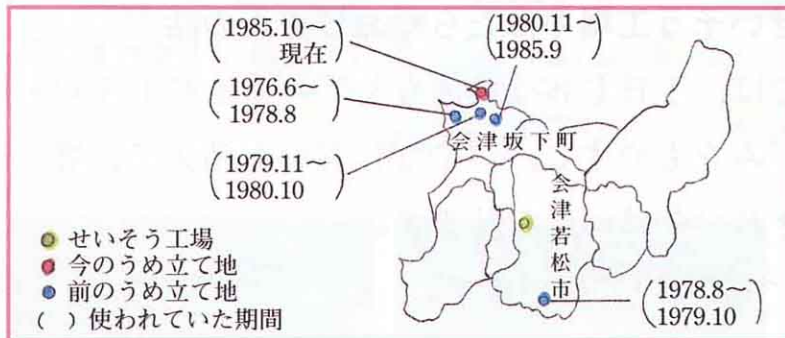


### 作業員のおじさんの話

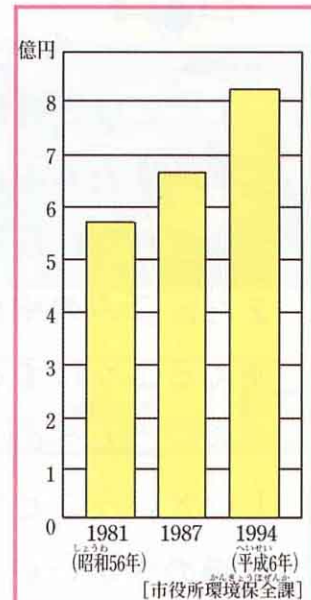
会津若松市には、およそ40台のしゅう集車があります。それぞれの車がうけもちのくいきを決めてごみを集めています。できるだけむだなく、早く多くの場所を回りたくので、決められた時こくまでに、ごみを出してもらいたいです。

集められたごみは、せいそう工場に運ばれます。会津若松市では、<sup>あいづばんげまち</sup>会津坂下町や北会津村などのまわりの9つの町や村と協力し合<sup>きょうりよく</sup>って、せい<sup>うんえい</sup>そう工場を運営しています。

このせいそう工場の正しい名前は「会津地区<sup>こういき</sup>広域事業組合<sup>じぎょうくみあい</sup>ごみ焼却処理施設<sup>しょうきやくしより しせつ</sup>」です。



### 市のごみしよ理しせつ



「会津若松市には、ごみのうめ立て地をつくる場所はないのかな。」



「ごみのしまつには、近くの町や村の協力があるんだわ。」

「場所のほかにも、毎年ふえるごみしよ理<sup>ひ</sup>の費用<sup>ひよう</sup>が問題になっています。」

と先生がおっしゃいました。

### 市のごみをしよ理する費用の変化